

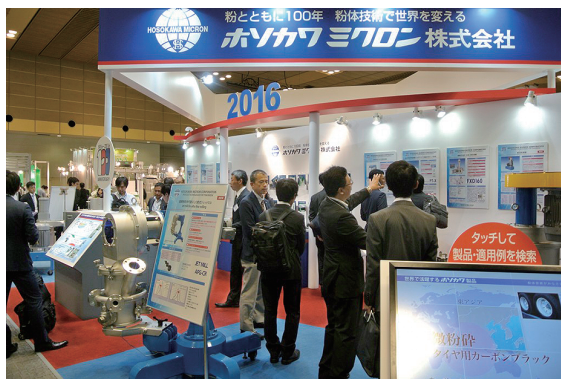
■ 2015 年

○ 10月9日【新製品】オールインワン・ジェル状美容液「ピュアクネス ジェル」の販売開始

当社の子会社であるホソカワミクロン化粧品株式会社が発売しました。当製品は、天然由来の保湿成分トタロールを、当社独自の技術によってPLGA ナノ粒子に内包することで、単に塗布しただけでは皮脂によって届きにくい毛穴のすみずみまで送り届け、肌のコンディションを整えます。当製品は、このように肌荒れやニキビのケア、そして美白・美肌にも効果を発揮することから、肌にトラブルを抱える方にとって強い味方となる製品です。しかも、無添加（無香料，無着色，無鉱物油，紫外線吸着剤不使用，アルコールフリー，パラベンフリー）設計で、敏感肌やアトピー肌の方，小さなお子様も安心して使うことができます。

○ 10月14日～16日「粉体工業展 2015」（於：インテックス大阪4・5号館（大阪/南港）に出展

国内外の納入事例などを交え、機器導入の検討材料となる情報のご提供およびご相談にあたりました。今回は、新型分級機内蔵カウンタジェットミル AFG-CR 衝撃型分級機内蔵微粉碎機 ACM-30HC（セラミック型），E-ACM（外部循環型），粒子球形化装置ファカルティ F-430S，小型汎用微粉碎機 UMP，小規模研究開発用卓上ラボ機ピコライン，減圧吸引型篩エアジェットシープ e200LS ならびに MAJS，新型湿式篩ヴィブレット VBL，粉体力学特



粉体工業展 2015 での展示風景

性評価装置パウダテスタ PT-X 等の装置と受託加工，受託測定，メンテナンスサービス，マテリアル等の事業および海外子会社が持つ主要技術について，実機とパネルによる展示を行いました。当社創業 100 周年を節目として，粉体技術を通して当社が産業界へ果たしてきた役割や貢献を振り返り，お客様に今一度当社製品・技術の強みを認識して頂くと共に，産業界の未来を切り拓く新たな挑戦についてアピールしました。

■ 2016 年

○ 3月1日【新製品】スキンケア化粧品「ナノクリスフェア・プライムライン」の販売開始

当社子会社のホソカワミクロン化粧品株式会社は，3月1日（火）からスキンケア化粧品「ナノクリスフェア・プライムライン」（新製品）3 製品を販売開始しました。従来商品のナノクリスフェアシリーズに，PLGA ナノカプセルを配合しリニューアルしました。配合された PLGA ナノカプセルは速やかに肌の角質層内部へ行きわたり，PLGA ナノカプセルに内包した成分（保湿成分：テトラヘキシルデカン酸アスコルビル）が肌のコンディションを整えます。

○ 3月16日 PM2.5 濃度測定装置が 2015 年度公益社団法人化学工学会 粒子・流体プロセス部会技術賞を受賞

2013 年 8 月に販売開始した煙道用 PM2.5 濃度測定装置（バーチャルインパクト VI-PM2.5）が，公益社団法人化学工学会の粒子・流体プロセス部会技術賞を受賞しました。3月16日（水），大阪研修センター江坂で開催された化学工学会粒子・流体プロセス部会総会に続いて，表彰式と受賞者講演が行われました。本賞は，東京農工大学と工学院大学，東京ダイレック，当社の 4 者連名による受賞となったため，受賞者を代表して東京農工大学 神谷教授が当装置の開発と煙道中の PM2.5 測定に関する国際標準規格（ISO）や日本工業規格（JIS）制定の経緯について講演されました。



平成 27 年度助成事業贈呈式記念撮影

○ 3 月 22 日「平成 27 年度 KONA 賞・研究助成等贈呈式」(於：ホソカワミクロン(株)本社本館 12 階大会議室 (大阪府/枚方) の開催

平成 3 年 12 月に当社元社長 細川益男が創設した公益財団法人 ホソカワ粉体工学振興財団は毎年、素晴らしい業績を挙げられた研究者に贈呈される「KONA 賞」をはじめ、これまでに 600 名を超える研究者の方々に研究助成を行うとともに、大学院学生を対象とした若手研究者の育成や粉体関係の学会の開催援助などを実施し、粉体工学の振興を図ってまいりました。前年度は、全体で 186 件の応募に対して、選考委員による厳正な審査の結果、KONA 賞 1 件、研究助成 22 件、研究者育成 10 件を採択し助成を行いました。式典では、細川理事長挨拶、日高常務理事の選考結果報告の後、受賞者及び助成対象者一人ひとりに、細川理事長から贈呈状が手渡されました。その後、KONA 賞受賞者牧野尚夫氏から受贈者を代表しての挨拶があり、続けて研究助成対象者、研究者育成対象者、主催者側から 1 名ずつによる粉体工学に関する興味深い講演が行われました。式典終了後には、見学ツアー・懇親会などが行われました。参加者は、受賞者・助成対象者・財団関係者など約 60 名でした。

○ 4 月 11 日【新製品】薬用育毛剤「ナノインパクト 100」の販売開始

当社子会社ホソカワミクロン化粧品株式会社が薬用育毛剤“ナノインパクト 100”シリーズを販売開始しました。当社は、2005 年にスキンケア化粧品、その翌年からは頭皮ケア関連製品の事業に参入

しましたが、この度、創業 100 周年を機に、機能性 PLGA ナノ粒子の直接配合の一剤化および微粒化などの技術革新を図りました。これらによって、毛穴への浸透性と持続性が向上し、さらに配合成分の強化によってリニューアルした育毛剤(男女)、シャンプー、コンディショナーは頭皮・毛髪をより健やかな状態へと導くものと期待されています。



専用育毛剤“ナノインパクト 100”シリーズ

○ 4 月 18 日 創業 100 周年記念式典 (於：ホソカワミクロン株式会社本社 (大阪/枚方))

1916 年(大正 5) 4 月 18 日に当社の創業者細川永一が満 26 歳の若さで大阪市西区本田町に小さな鉄工所を興して以来 100 年になるのを記念し、枚方市の本社ビル 12 階において、各事業所を結ぶ TV 会議システムによる創業 100 周年記念式典が開催されました。細川悦男社長が挨拶に立ち、顧客や協力会社、社員等、ステークホルダー各位への感謝を述べるとともに、『この創業 100 周年の記念日を単にお祝いの日にしてはならない。“改革”という言葉を常に念頭に置き、責任感と積極性をもって、現状に甘んずることなく、チャレンジし、前進していかねばならない』と決意を述べました。

トピックス

○4月19日(火)～4月21日(木)3日  
**間 POWTECH 2016 (於: Exhibition Centre Nuremberg (ドイツ/ニュルンベルク)) に出展**  
 POWTECHは18カ月毎に開催され、化学、医薬、食品、セラミックスなど全産業分野に関わる、世界最大規模の粉体機器関連の見本市です。ホソカワミクロングループの欧州の代表三社(ホソカワアルピネ(HAAG:ドイツ)、ホソカワミクロンB.V.(HMBV:オランダ)とホソカワミクロンLtd.(HML:イギリス))が同展示会でグループ各社の最新技術及び製品を展示しました。



POWTECH 2016 展示風景

○4月20日～22日「CPhI Japan2016 (国際医薬品原料・中間体展)」(於: 東京ビッグサイト (東京/有明))に出展

4月20日(水)～22日(金)、東京ビッグサイトで開催されたCPhI Japan2016(国際医薬品原料・中間体展)に、特殊化学製品・石油精製用触媒等の販売を行う株式会社野村事務所(東京都港区、代表取締役社長 野村生次)と共同で出展しました。当社が世界初となるGMP基準によるPLGA(乳酸/グリコール酸共重合体、生体適合性・生体内吸収樹脂)ナノ粒子の大規模製造拠点の確立を図る際、同社へ製造技術のライセンスを供与することで、営業窓口として製造技術移転の仲介役となることになりました。

○4月21日 **創業100周年記念“感謝の集い”**(於: 帝国ホテル大阪 (大阪市/北区))

顧客を始め日ごろお世話になっている政、官、財、学界、協力会社、社

友(OB)、海外ユニット幹部、労働組合関係の皆様を帝国ホテル大阪にお招きし、当社関係者を含めて1,000人を超える盛大な“感謝の集い”を開催しました。



創業100周年記念“感謝の集い”での細川悦男社長挨拶



懇親会風景

○5月15日、5月22日、6月12日 **創業100周年記念社員向け祝賀パーティー (USJ/大阪, TDL/東京)**

創業100周年を記念して、役員以下全社員とその家族総勢約1,000名を招待して、関西地区はユニバー



USJでの祝賀パーティー風景

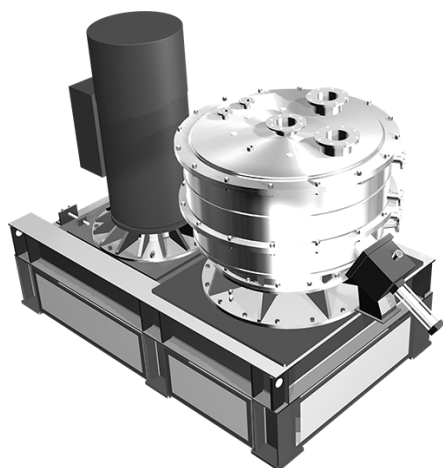
サル・スタジオ・ジャパン、関東地区は東京ディズニーランドホテルのパーティー会場で盛大な祝賀パーティーを開催しました。それぞれのパーティーにおける開会挨拶で細川社長が強調したのは、従業員の日頃の努力と家族の陰の支えに対する心からの感謝でした。

○6月10日育毛剤「ナノインパクト100（男性用／女性用）」の海外通信販売を開始

当社子会社 ホソカワミクロン化粧品株式会社はシンガポールで当社オリジナル育毛剤「ナノインパクト100（男性用／女性用）」の通信販売を開始しました。これは、シンガポール国内で主として日系ブランドの化粧品をインターネットで販売するWebサイト「Best Buy World」に商品を掲載し、BtoCの事業拡大を図るものです。また、同時に、世界最大のインターネット上の国際展示会「Alibaba.com」に化粧品および育毛剤を出展し、BtoB事業を拡大すべく世界中のバイヤー募集を開始しました。

○8月24日【新製品】乾式粒子複合化装置 ノビルタ ベルコムの販売開始を発表

乾式粒子複合化装置ノビルタ ベルコム NOB-VCは、2004年5月に販売を開始し、二次電池やトナー、医薬品、化粧品、顔料等における材料加工の分野で数多くの納入実績を有する乾式粒子複合化装置ノビルタの特長・能力を継承しつつ、省スペースでの大容量処理を目的に開発したものです。円筒状の容器内で回転する特殊な形状のロータの先端部と容器内壁の間で、衝撃・圧縮・せん断の力が個々の粒子に



新型乾式粒子複合化装置ノビルタ ベルコム

均一に作用するように設計した基本原理は従来装置と同様ですが、根本的な装置構造を横型から縦型に変更しました。

○9月13日「第50回粉体工学に関する講演討論会」ならびに「ホソカワ粉体工学振興財団設立25周年記念特別講演会」（於：東京マリオットホテル（東京都／品川））の開催

当講演討論会は、粉体技術談話会の企画のもとに公益財団法人ホソカワ粉体工学振興財団（理事長細川悦男）が主催して開催されるもので、今回は「豊かな未来社会を築く粉体技術」をテーマに、2015年度KONA賞受賞記念講演に加え、東京理科大学学長、東京大学特別荣誉教授の藤嶋昭先生による財団設立25周年記念特別講演をはじめ、さまざまな種類の材料を対象とした粉体工学・粉体技術の最前線について、6名の講師の方からご講演がありました。講演討論会の後、懇親会が催され、終始和やかな雰囲気の中、講師と来場者との間で有意義な交流が行われました。講演会の来場者数は160名近くとなり、会場は満杯状態となりました。



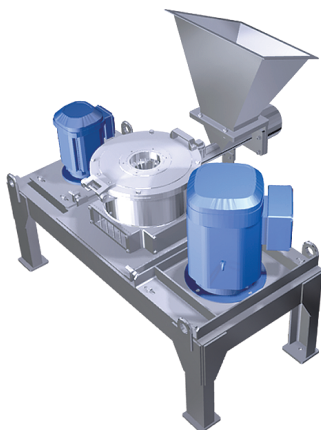
第50回粉体工学に関する講演討論会風景



ホソカワ粉体工学振興財団設立25周年記念特別講演会風景

○ 10月11日【新製品】分級機内蔵衝撃型微粉碎機  
ACM パルベライザ BC 型の販売開始を発表

当装置は、医薬や食品、化学、樹脂、鉱物等の様々な分野で、世界的に幅広く導入され、日本国内でも2,500台を超える納入実績を有する微粉碎機 ACM パルベライザの特徴・能力を継承しつつ、二次電池正極材の加工に特化して開発したものです。従来装置は、気流式分級機を内蔵し、高い粉碎性能と製品粒子径の制御が容易なことを特徴とする微粉碎機でしたが、当装置では従来装置の粉接部全てにセラミックス部品を用いることで、部品の摩耗による金属コンタミネーションを防止しました。特に二次電池材料においては、金属コンタミネーションは製品の品質および安全性に直結する非常に重要な要素となります。また、日本国内のみならず、二次電池材料加工関連設備の需要が高まる中国、韓国等の海外市場での拡販を目的に、主要部品の構造を見直し、シンプルな設計とすることで、装置のインシャルコスト低減を図りました。



新型分級機内蔵衝撃型微粉碎機  
ACM パルベライザ BC 型

○ 10月12日～14日「BioJapan2016」(於：パシ  
フィコ横浜(横浜/西区))に出展

当イベントは、バイオビジネスにおけるアジア最大規模の展示会兼パートナーングイベントであり、多く来場されたバイオ関連企業および研究者に当社の DDS(薬物送達システム) 受託研究事業をはじめ、化粧品および育毛剤を出展しました。

編集後記  
Editorial Note

本年は、日本に上陸した台風の数には1951年以来、2番目に多い記録を出したとのことでさらにゲリラ豪雨も増え、また4月の熊本、10月の鳥取地震など多くの自然災害がありました。いろいろなところで気象現象が変化してきていることが感じられますが、一方でこれらに対する計測・予測技術が進歩し、その警報がインターネットを利用したスマートフォンや携帯電話等のメディアで、対象となる住民にリアルタイムで連絡する体制が整ってきつつある感があります。特に天気予報については、本年7月に打ち上げられた気象衛星ひまわり8号によって、より鮮明で分かりやすい画像が提供され、予報の精度もそれぞれの地域、時間帯についてより高まってきているように思われます。これらのインターネットを使った情報通信技術は既に様々な分野で応用されてきていますが、IoTを利用した粉体プラント運転の遠隔での維持・管理・制御等にも活用されつつあります。

本年はホソカワミクロン株式会社の創業100周年、公益財団法人ホソカワ粉体工学振興財団の設立25周年の節目の年となりました。本誌もNo.60の記念号となり、本年9月に開催されました第50回粉体工学に関する講演討論会での講演内容を特集として掲載させて頂きました。この講演会では、東京理科大学学長(東京大学特別栄誉教授)の藤嶋先生に「酸化チタン光触媒とダイヤモンド電極」について特別講演をお願いし、先生のご了解とご協力を得て、その講演概要を掲載しています。光触媒機能をもった酸化チタンの微粒子が建物や高速道路の壁や屋根やガラス、新幹線等の空気清浄機や車のサイドミラーなどに幅広く利用されていることが改めてよく分かりました。また、Hosokawa Micron UKのCrosley MDのIoT関連の英語での講演については、そのテキストの日本語版を本誌に掲載することになりました。

また、粉砕誌は60号の出版を記念して本年より装いを新たに、読みやすくより良い粉体技術誌の出版を目指しております。本誌につきまして、ご意見、ご要望等がございましたら、何なりと事務局までご連絡頂けましたら幸いです。よろしくお願い致します。(T.Y.)